

滋賀県の障害者の文化芸術活動等に関する実態調査結果

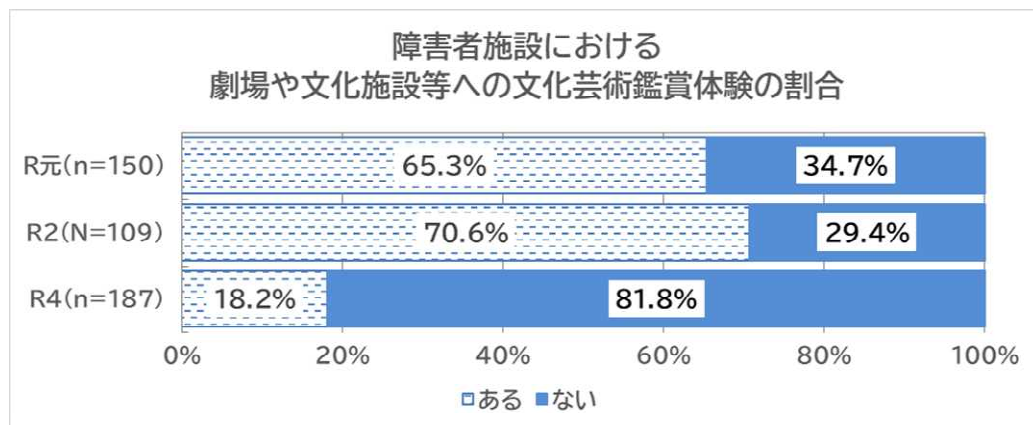
資料3-3

	障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査	障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象)	障害者の文化芸術活動の推進に係る施策等調査
目的	県内の障害者施設における文化芸術活動の取組状況について把握する。	県内の社会教育施設・文化施設における障害者の文化芸術活動の取組状況について把握する。	市町における障害者の文化芸術活動の推進に係る施策等の取組状況について把握する。
対象者	県内障害者施設 (訪問系、日中介護系、施設系、児童発達通所支援系、訓練系・就労系、居住支援系)	県内文化施設 (劇場、音楽堂、美術館、博物館等)	市町
調査期間	令和4年8月4日(木) ～8月30日(火)	令和4年8月9日(火) ～8月30日(火)	令和4年8月9日(火) ～8月19日(金)
回答方法	しがネット受付サービスによるインターネット調査	しがネット受付サービスによるインターネット調査	メール
回答数	187施設	70施設	19市町

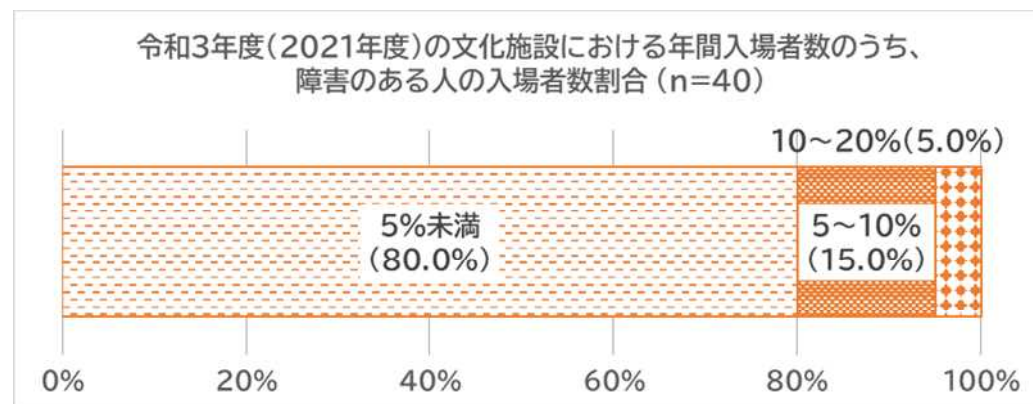
1 鑑賞の機会

- 令和4年(2022年)の本県の障害者施設における劇場や文化施設等への文化芸術鑑賞体験の割合は18.2%。(図1)
- 令和3年度(2021年度)の文化施設における年間入場者数のうち、障害のある人の入場者数の割合が「5%未満」が80.0%。(図2)

【図1】障害者施設における劇場や文化施設等への文化芸術鑑賞体験の割合
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



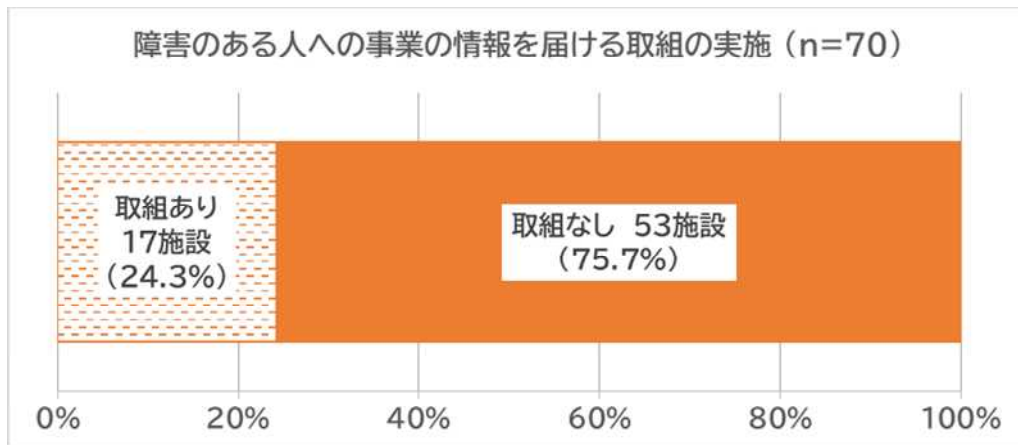
【図2】令和3年度(2021年度)の年間入場者数のうち、障害のある人の入場者数割合 (障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))
※障害のある人の入場者数が0人または不明の施設は対象外



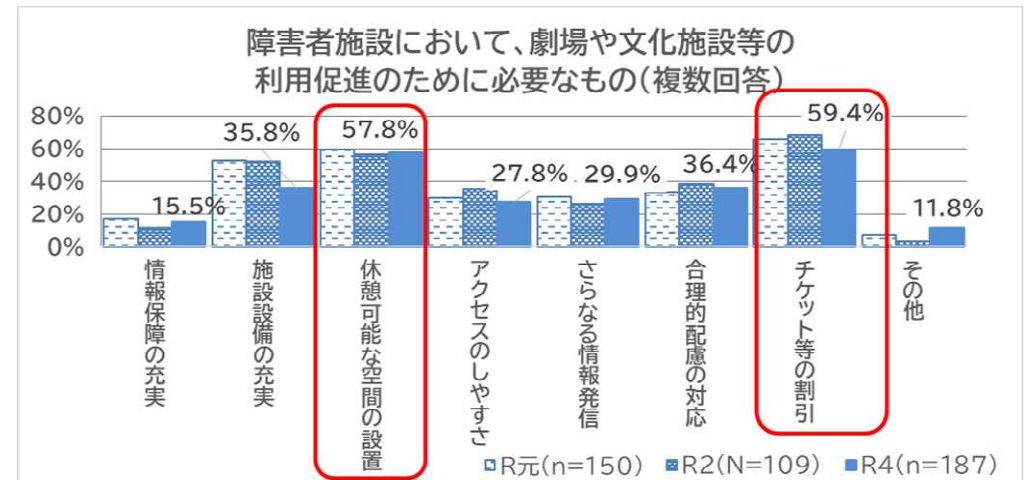
1 鑑賞の機会

- 文化施設によると、障害のある人への事業の情報を届ける取組の実施は、「取組なし」が75.7%。(図3)
- 令和4年(2022年)の本県の障害者施設において、劇場や文化施設等の利用促進のために必要なものは、「チケット等の割引」が59.4%、「休憩可能な空間の設置」が57.8%。(図4)
- 文化施設における障害のある人に対する鑑賞サポートの実施状況は、「入館料等の割引」が44.3%、「特に行っていない」が37.1%。(図5)
- 文化施設において、対応している整備は、「多機能型トイレの設置」、「障害者用駐車場」が72.9%、「エレベーター、エスカレーター、いす式階段昇降機、スロープ等の設置」が70.0%。(図6)

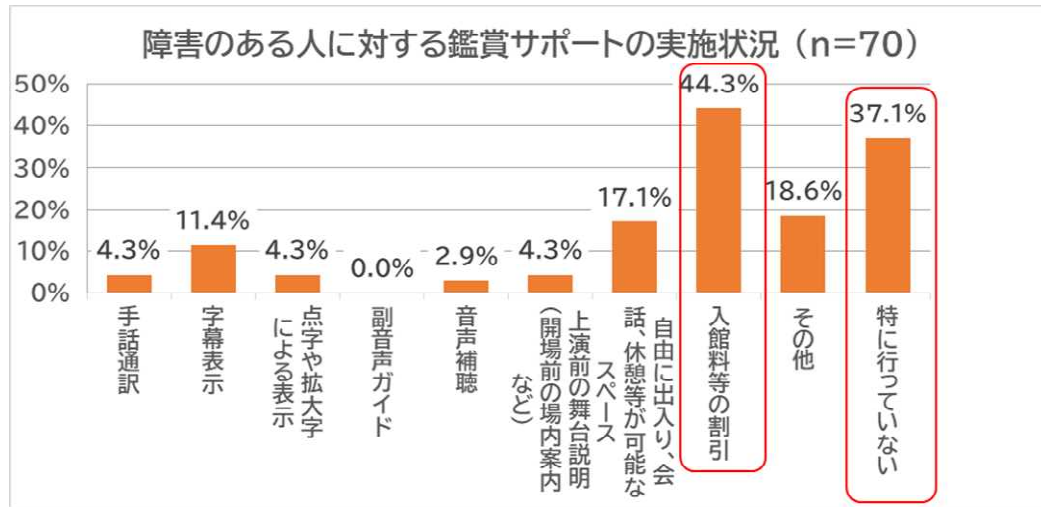
【図3】障害のある人への事業の情報を届ける取組の実施
(障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))



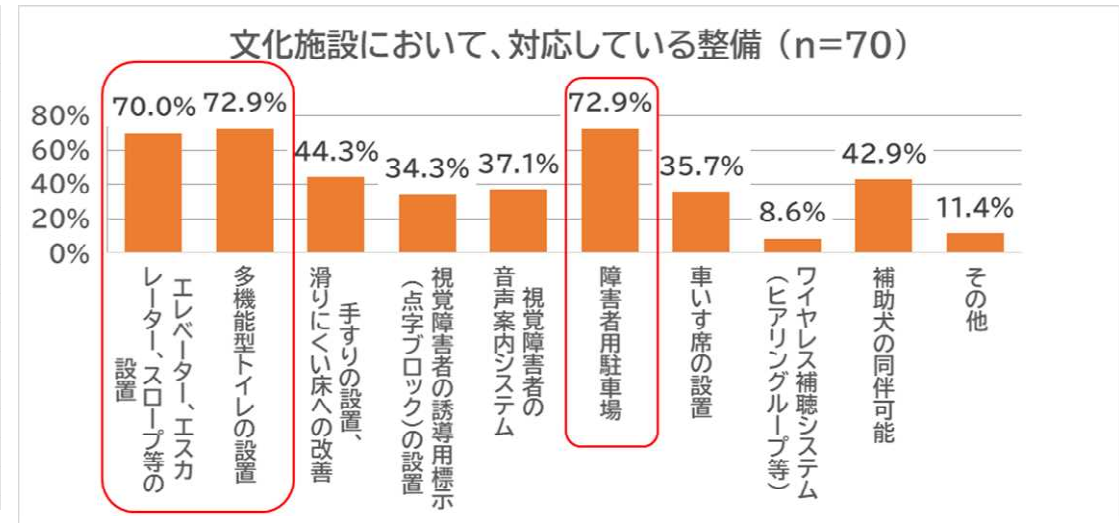
【図4】障害者施設において、劇場や文化施設等の利用促進のために必要なもの(複数回答)
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



【図5】障害のある人に対する鑑賞サポートの実施状況(複数回答)
 (障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))



【図6】文化施設において、対応している整備
 (障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))

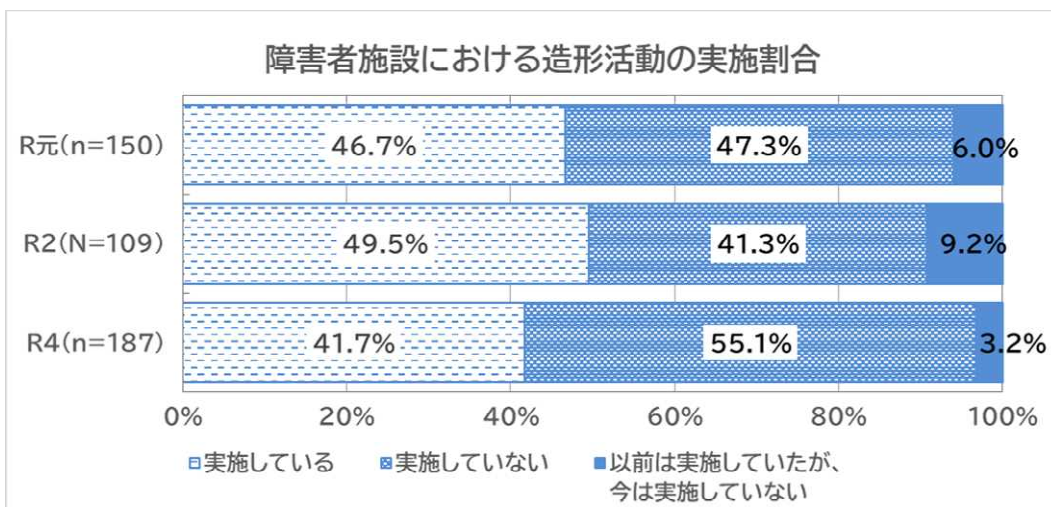


障害者の文化芸術活動の状況について

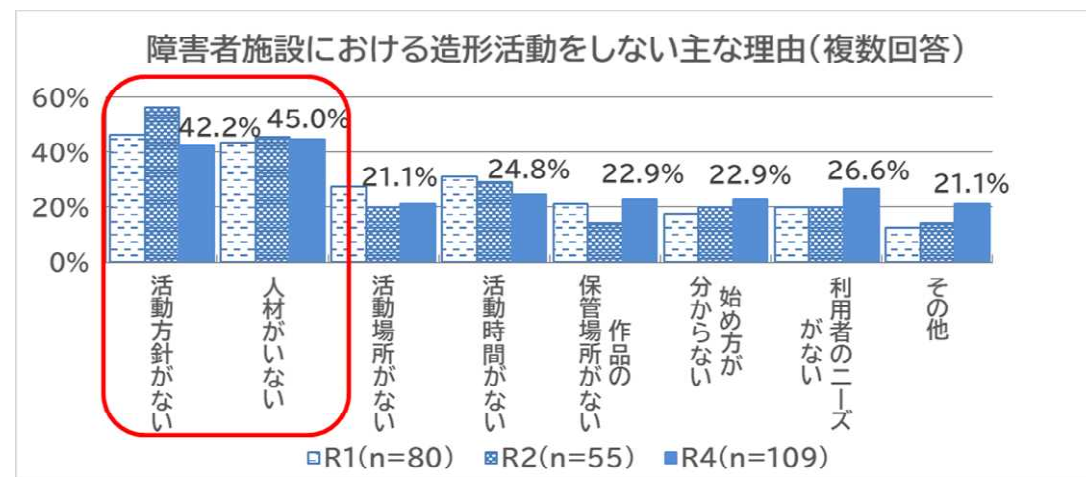
2 創造の機会（造形活動）

- 令和4年(2022年)の本県の障害者施設における造形活動の実施割合は41.7%。(図7)
- 令和元年(2019年)以降、半数以上の障害者施設が造形活動を実施していない。(図7)
- 造形活動をしない主な理由は、「人材がない」が45.0%、「活動方針がない」が42.2%。(図8)

【図7】障害者施設における造形活動の実施割合
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



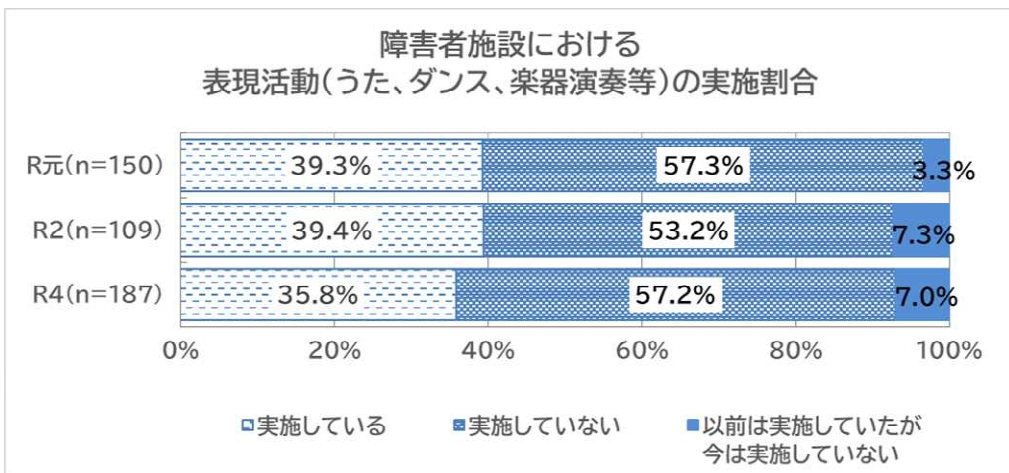
【図8】障害者施設における造形活動を実施しない主な理由
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



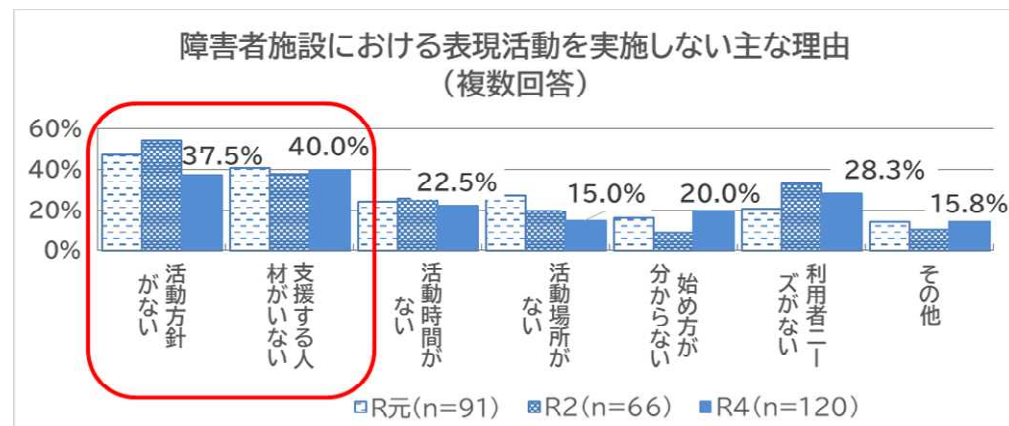
2 創造の機会（表現活動）

- 令和4年(2022年)の本県の障害者施設における表現活動(うた、ダンス、楽器演奏等)の実施割合は35.8%。(図9)
- 令和元年(2019年)以降、60%以上の障害者施設が表現活動を実施していない。(図9)
- 表現活動をしない主な理由は、「支援する人材がない」が40.0%、「活動方針がない」が37.5%。(図10)

【図9】障害者施設における表現活動(うた、ダンス、楽器演奏等)の実施割合
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



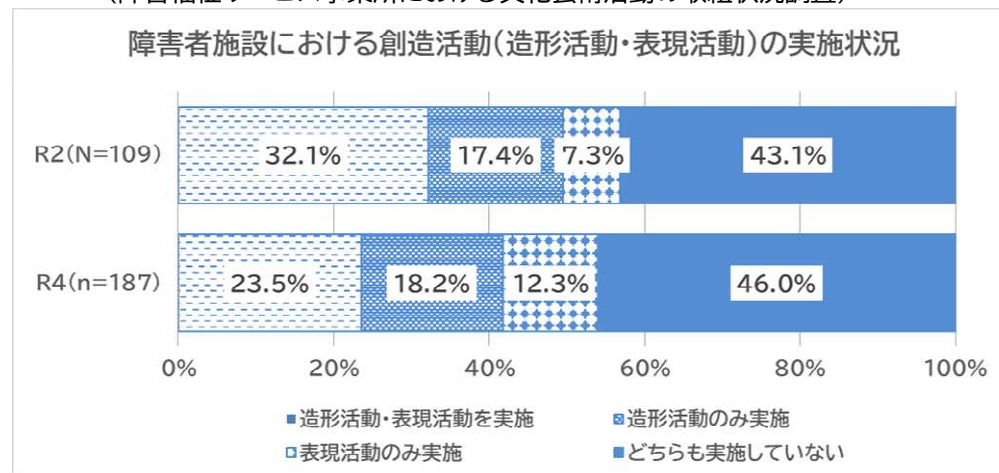
【図10】障害者施設における表現活動を実施しない主な理由
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



2 創造の機会（造形・表現活動）

- 本県の障害者施設において、造形活動、表現活動のどちらも実施している施設は23.5%であり、半数近くの施設は、どちらの活動も実施していない。(図11)

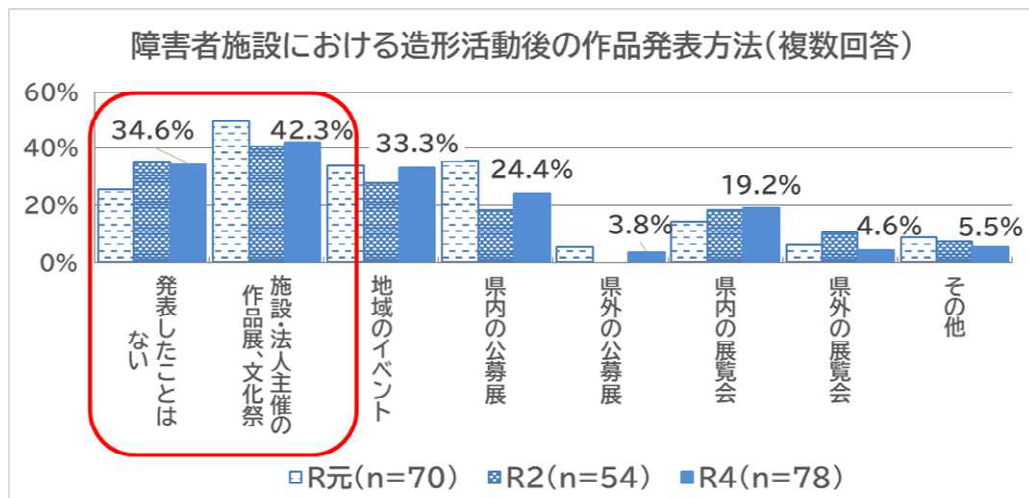
【図11】障害者施設における創造活動(造形活動・表現活動)の実施割合
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



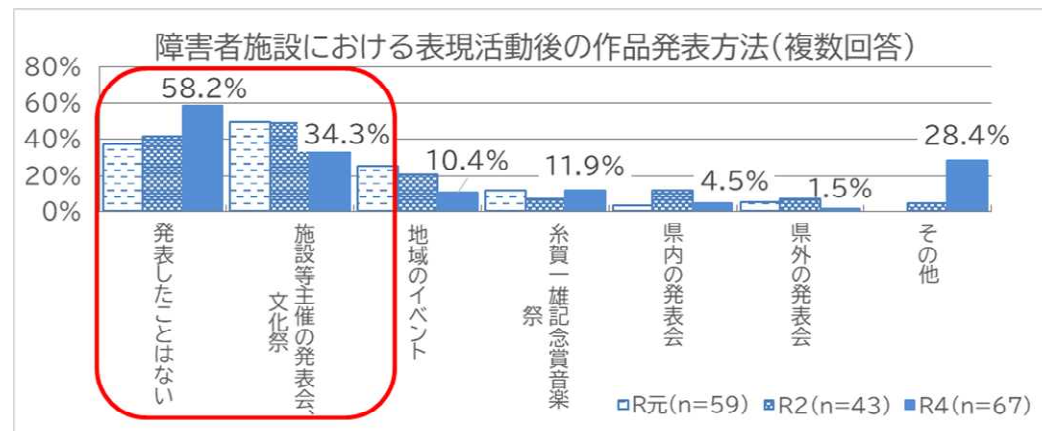
3 発表の機会

- 令和4年(2022年)の本県の障害者施設における造形活動後の作品発表方法は、「施設・法人主催の作品展、文化祭」が42.3%、「発表したことはない」が34.6%。(図12)
- 障害者施設における表現活動後の作品発表方法は、「発表したことがない」が58.2%、「施設等主催の発表会、文化祭」が34.3%。(図13)
- 令和3年度からの2年間において、主催または共催で、障害者の造形作品の展示や表現活動を開催した文化施設は、14.3%。(図14)
- 文化施設において障害者の造形作品の展示や表現活動を開催しなかった理由は、「施設の方針としてない」が41.7%。(図15)

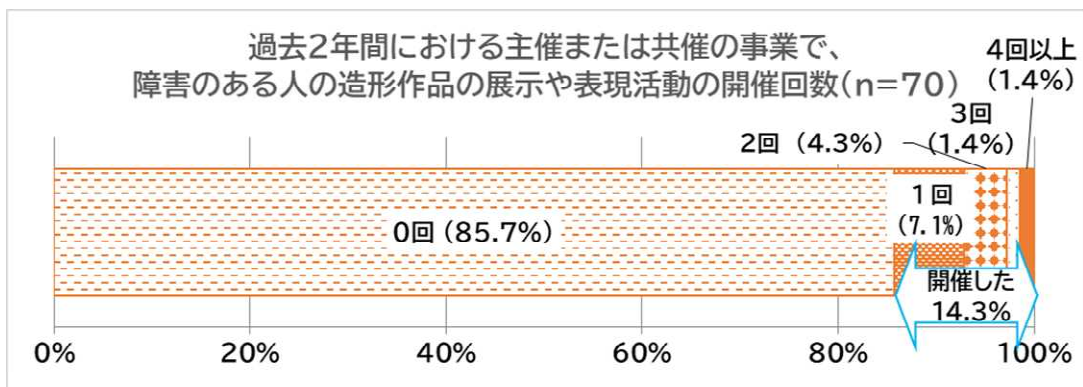
【図12】障害者施設における造形活動後の作品発表方法(複数回答)
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



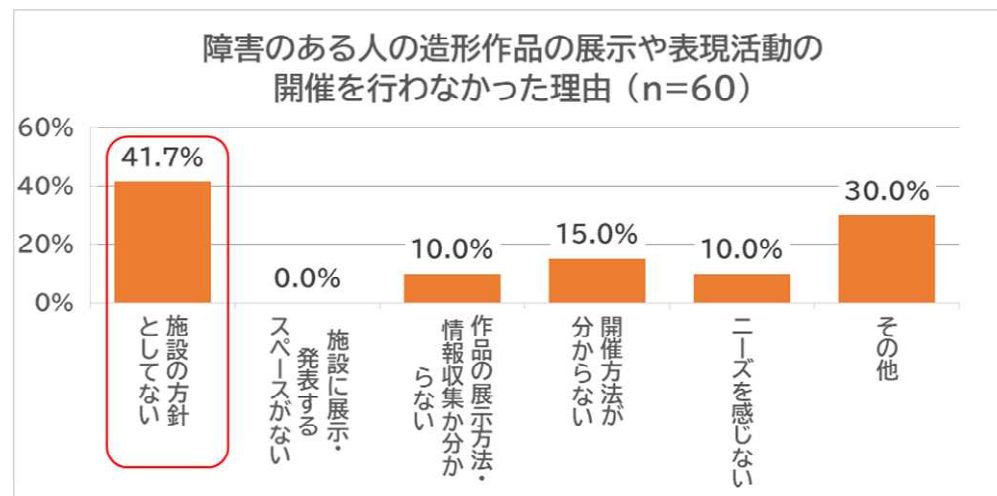
【図13】障害者施設における表現活動後の作品発表方法(複数回答)
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



【図14】令和3年度から令和4年度の2年間に於ける主催または共催の事業で、障害のある人の造形作品の展示や表現活動の開催回数(予定も含む)(障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))



【図15】障害のある人の造形作品の展示や表現活動の開催を行わなかった理由(複数回答)(障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))



4 市町の取組

障害者の文化芸術活動を推進するため、障害のある人に配慮した市町の取組
(障害者の文化芸術活動の推進に係る施策等調査(令和4年度))

【創造・発表の機会】

(造形活動)

- 市内小中学校等を会場にした障害のある人の作品展の開催（甲賀市、高島市、日野町）
- 市庁舎内や市施設内で、アール・ブリュット作品の展示（湖南市）
- 障害のある人によるアートピアノの作成（甲賀市）

(表現活動)

- 障害のある人の音楽発表会の開催（高島市）
- 障害の有無や演技経験を問わず、多様なキャストで作り上げる創作ミュージカルの開催（東近江市）
- 障害のある人で構成される音楽サークルの舞台発表の機会の提供（多賀町）

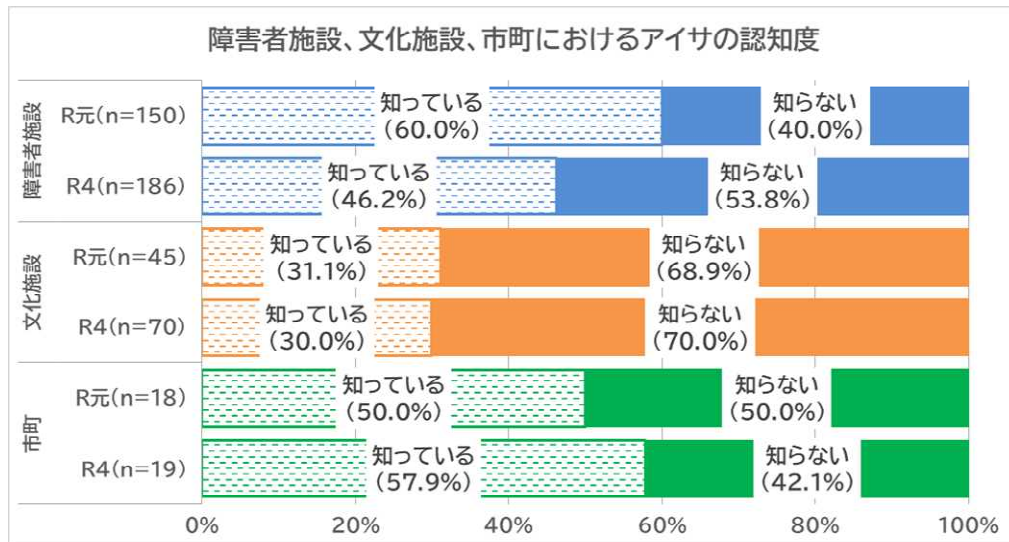
【鑑賞の機会】

- 乳幼児や高齢者、障害者が参加できるコンサートの開催（近江八幡市）
- 障害の有無に関わらず舞台芸術を鑑賞できる機会の提供（草津市）
- 聴覚障害者用字幕付映画の上映（日野町）

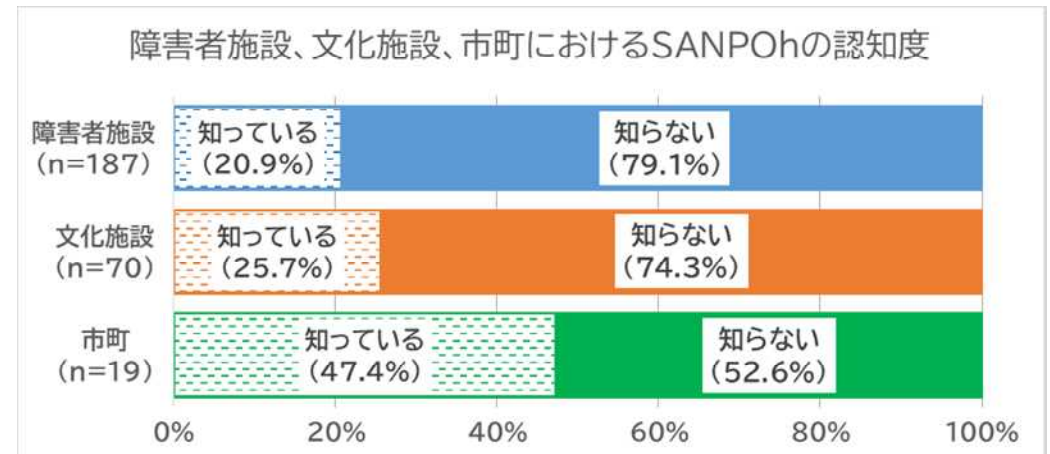
5 支援

- 令和4年(2022年)において、障害者施設の53.8%、文化施設の70.0%、市町の42.1%は、「アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター(略称:アイサ)」を「知らない」。(図16)
- 滋賀で人と社会と文化芸術をつなぐプロジェクト「SANPOh」について、障害者施設の79.1%、文化施設の74.3%、市町の52.6%は「知らない」。(図17)
- 障害者施設において、誰もが一緒に文化芸術活動を楽しめるイベントに「関心がある」のは81.3%。(図18)
- 障害者施設において、障害者文化芸術活動の促進のために必要なものは、「人手」が69.5%、「時間」が40.1%。(図19)
- 文化施設において、障害のある人に対するサポートや理解に関する研修を「実施したことがある」のは25.7%。(図20)
- 文化施設において研修を実施する予定がない理由は、「研修実施のノウハウがない」が51.9%、「人員不足」が26.9%。(図21)

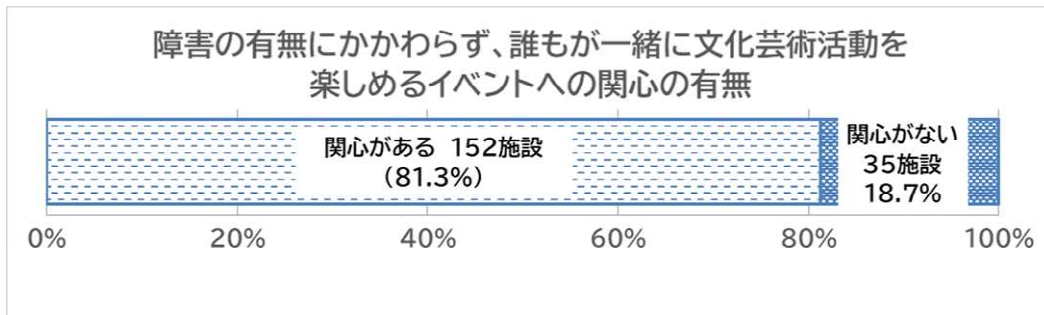
【図16】障害者施設、文化施設、市町におけるアイサの認知度
 (障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)
 (障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))
 (障害者の文化芸術活動の推進に係る施策等調査(令和4年度))



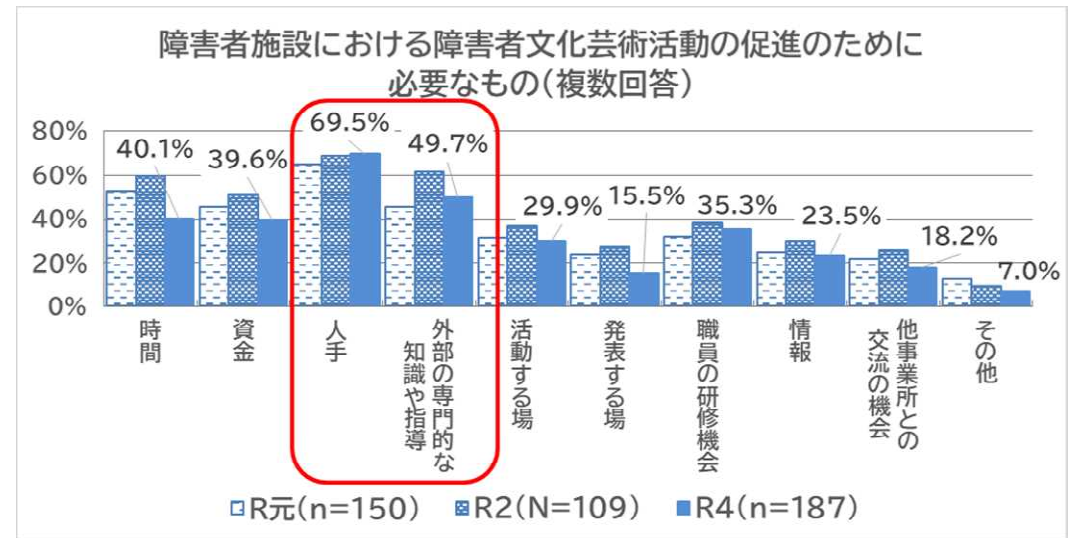
【図17】障害者施設、文化施設、市町におけるSANPOhの認知度
 (障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)
 (障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))
 (障害者の文化芸術活動の推進に係る施策等調査(令和4年度))



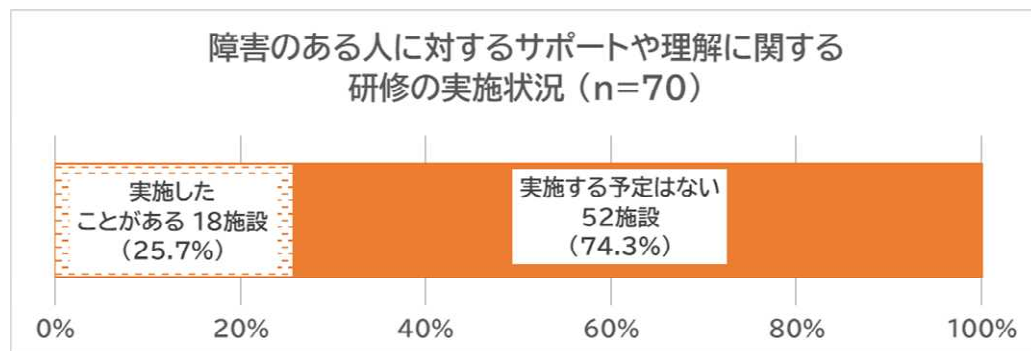
【図18】障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に文化芸術活動を楽しめるイベントへの関心の有無
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



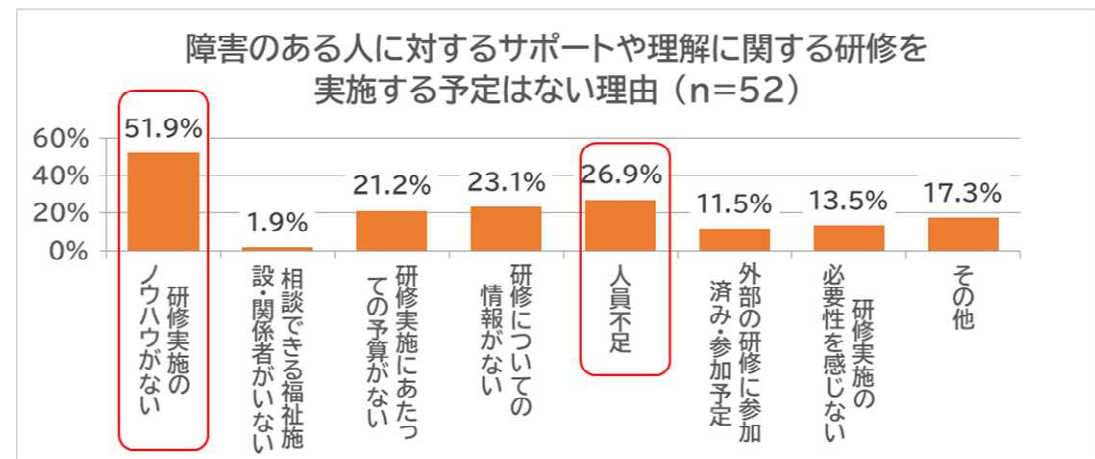
【図19】障害施設における障害者文化芸術活動の促進のために必要なもの(複数回答)
(障害福祉サービス事業所における文化芸術活動の取組状況調査)



【図20】障害のある人に対するサポートや理解に関する研修の実施状況
(障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))



【図21】障害のある人に対するサポートや理解に関する研修を実施する予定はない理由(複数回答)
(障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))

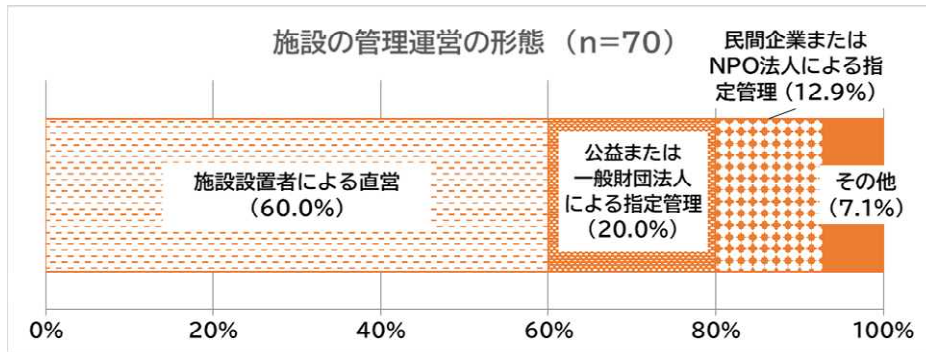


6 その他

- ・ 県内の文化施設のうち、「施設設置者による直営」が60.0%、「公益または一般財団法人による指定管理」が20.0%。(図22)
- ・ 現在、障害者文化芸術活動推進計画を策定している市町は無く、今後策定する予定があるのは1市のみ。(表1)
- ・ 指定管理制度による施設運営の選定要件として、障害者による文化芸術活動の推進を位置付けているのは、1市のみ。(表2)
- ・ 市町において、文化芸術に触れる機会が十分にもてない人に対する取組での課題は、「文化芸術に対する関心の希薄」が5市、「文化芸術に対するニーズ把握」が2市1町。(表3)
- ・ 市町において、障害者の文化芸術活動を推進するために必要となるものは、「文化芸術と福祉を理解した中間支援を行う人材や組織」が15市町、「障害のある人や支える人・団体のニーズ把握」が14市町。(表4)

【図22】施設の管理運営の形態

(障害者の文化芸術活動の推進に係る調査(文化施設対象))



【表3】障害者、高齢や子育て中の保護者など、文化芸術に触れる機会が十分にもてない人に対する取組を進める上での課題
(障害者の文化芸術活動の推進に係る施策等調査(令和4年度))

- ・ 文化芸術に対する関心の希薄 5市
- ・ 文化芸術に対するニーズ把握 2市1町
- ・ 文化施設の改修等へ予算確保 4市
- ・ 文化芸術に触れる機会の不足 1町
- ・ 人材不足、ノウハウ不足 1町 など

【表1】障害者文化芸術活動推進計画の策定の有無

(障害者の文化芸術活動の推進に係る施策等調査(令和4年度))

- ・ 現在、未策定であるが、今後策定する予定がある。 1市 (甲賀市)
- ・ 現在、未策定であり、今後も策定する予定はない。 18市町

【表2】指定管理制度による施設運営の選定要件として、障害者の文化芸術活動推進の位置づけの有無

(障害者の文化芸術活動の推進に係る施策等調査(令和4年度))

- ・ 位置付けている。 1市 (草津市)
- ・ 位置付けていない。 8市町

【表4】障害者の文化芸術活動を推進するために必要となるもの

(障害者の文化芸術活動の推進に係る施策等調査(令和4年度))

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| ・ 文化芸術と福祉を理解した中間支援を行う人材や組織 | 12市3町 |
| ・ 障害のある人や支える人・団体のニーズ把握 | 10市4町 |
| ・ 障害者の文化芸術活動を支える団体等への助成 | 10市3町 |
| ・ 文化施設のハード面の整備 | 10市3町 |
| ・ 障害者の文化芸術施策促進のための活動、相談機関の拠点となる場の構築 | 6市5町 |
| ・ 障害者文化芸術施策の企画などの研修機会の充実 | 6市4町 |
| ・ 県と連携した事業の実施 | 6市4町 |